

がん統計（院内がん登録）

【院内がん登録の対象】

入院・外来を問わず、自施設において、当該腫瘍に対して初回の診断がおこなわれた腫瘍です。

初回の診断とは、自施設における当該腫瘍に関して、初めての診断及び/又は治療等の診療行為のことを指し、入院・外来を問わず自施設において当該腫瘍に対して初診し、診断及び/又は治療等の対象となった腫瘍をがん登録の登録対象としております。

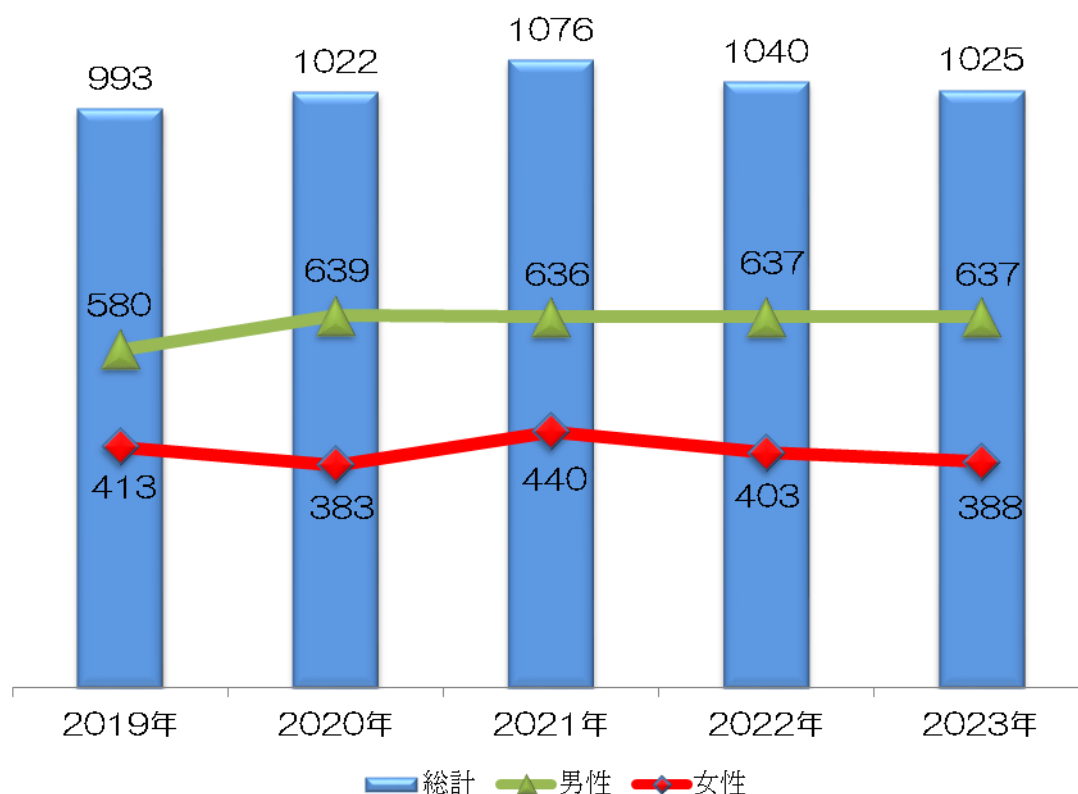
各施設における登録対象は、登録を実施する自施設での新規の診断患者または他施設で診断後に自施設を初診した患者であり、初発例・再発例を含み、加えて、治療をおこなわない経過観察症例も含まれます。

2016年1月1日以降の新規診断症例の登録からは、1腫瘍1登録となるように1腫瘍1登録の原則に基づき、同一患者に複数のがん病巣が存在し、それらが臨床的・病理学的に独立した“がん”と判断された場合は、多重がんであるとされます。

多重がんの判断については、2018年症例より SEER2018 準拠ルールに基づいて登録しています。登録済みの同じがんについて当該施設で治療中に再発した患者については登録対象ではありません。

本集計では、2024年11月14日現在における自施設で登録されている院内がん登録データベースより抽出し集計した結果を掲載しております。

年別・性別 院内がん登録総数



年別・部位別 院内がん登録数

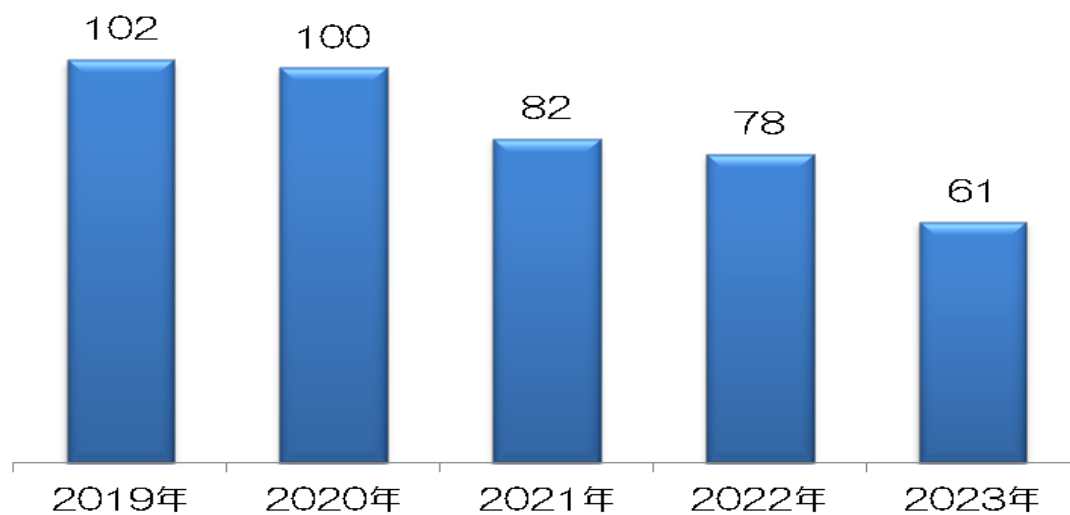
	2019年	2020年	2021年	2022年	2023年	総計
大腸	204	198	238	258	219	1117
前立腺	85	109	114	111	154	573
胃	102	100	82	78	61	423
悪性リンパ腫	84	68	77	87	89	405
白血病	64	78	84	69	68	363
他の造血器腫瘍	51	64	72	44	42	273
膀胱	36	41	37	41	48	203
肺	37	52	39	37	28	193
皮膚（黒色腫を含む）	32	47	39	30	41	189
脾臓	29	29	38	53	26	175
子宮（子宮頸部・子宮体部）	33	24	32	27	37	153
甲状腺	26	26	21	18	24	115
腎盂・尿管	11	30	24	22	23	110
脳・中枢神経系	31	26	16	18	19	110
肝臓	31	19	26	17	14	107
腎	20	21	29	16	19	105
多発性骨髄腫	18	18	20	18	31	105
胆嚢・胆管	22	18	21	28	14	103
食道	16	14	16	19	14	79
乳房	(7-9)	(7-9)	10	(4-6)	13	47
卵巣	12	0	(4-6)	(7-9)	12	36
原発不明	(7-9)	(4-6)	(4-6)	(4-6)	(4-6)	26
小腸	(4-6)	(7-9)	(4-6)	(7-9)	(1-3)	25
口腔・口唇	(7-9)	(1-3)	(4-6)	(1-3)	(1-3)	18
骨・骨軟部	(7-9)	0	(1-3)	(4-6)	(1-3)	18
膣・外陰	(1-3)	(1-3)	(4-6)	(1-3)	(4-6)	15
中咽頭	(1-3)	(1-3)	(1-3)	(1-3)	(1-3)	10
下咽頭	0	0	(1-3)	(1-3)	(1-3)	(7-9)
陰茎	(1-3)	(1-3)	(1-3)	(1-3)	0	(7-9)
精巣	(1-3)	(1-3)	(1-3)	(1-3)	(1-3)	(4-6)
肛門/肛門管	(1-3)	(1-3)	(1-3)	(1-3)	(1-3)	(4-6)
胸腺	0	(1-3)	(1-3)	0	(1-3)	(4-6)
喉頭	0	(1-3)	(1-3)	(1-3)	0	(4-6)
鼻腔・副鼻腔	0	(1-3)	0	(1-3)	(1-3)	(4-6)
原発不明-頸部リンパ節転移	0	(1-3)	(1-3)	(1-3)	0	(4-6)
大唾液腺	0	(1-3)	(1-3)	(1-3)	0	(1-3)
中皮腫	0	0	(1-3)	0	0	(1-3)
陰のう	0	0	(1-3)	0	(1-3)	(1-3)
上咽頭	(1-3)	0	0	0	0	(1-3)
上皮小体	(1-3)	0	0	0	(1-3)	(1-3)
副腎	0	0	(1-3)	0	0	(1-3)
総計	993	1022	1076	1040	1025	5156

※症例数が1例以上9例以下は、症例数を表記しておりません。

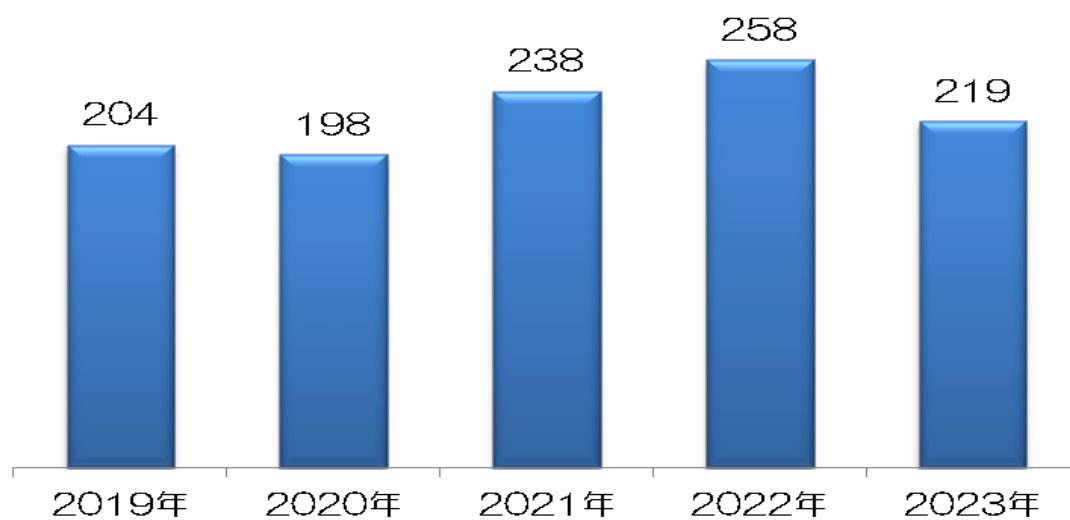
年次別登録数（主要 5 部位）

※9 例以下については、症例数を表示しておりません。

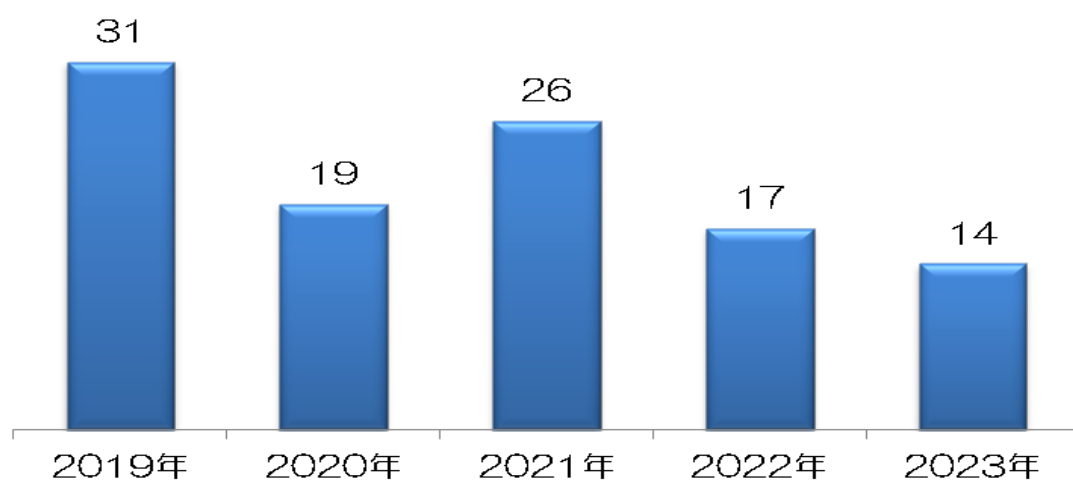
胃



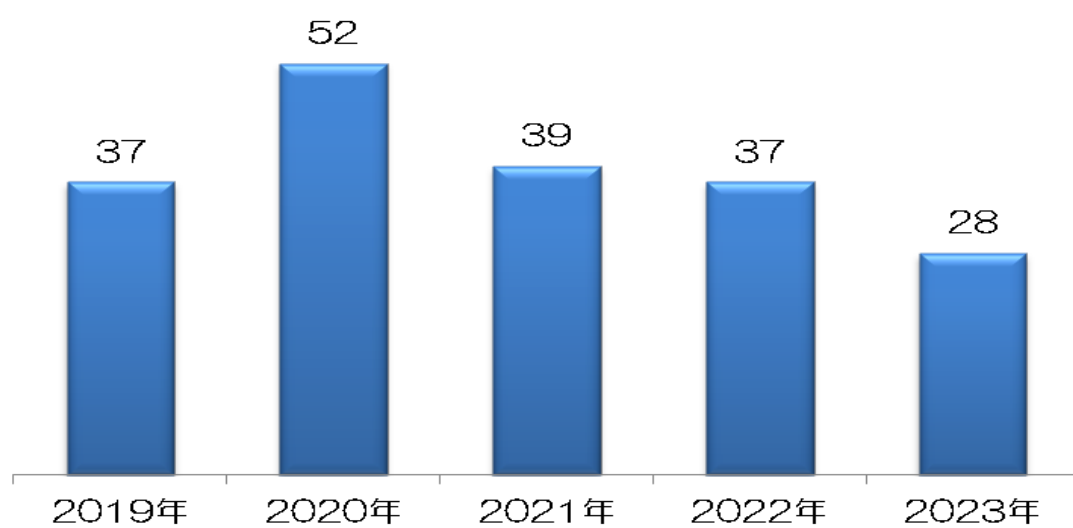
大腸



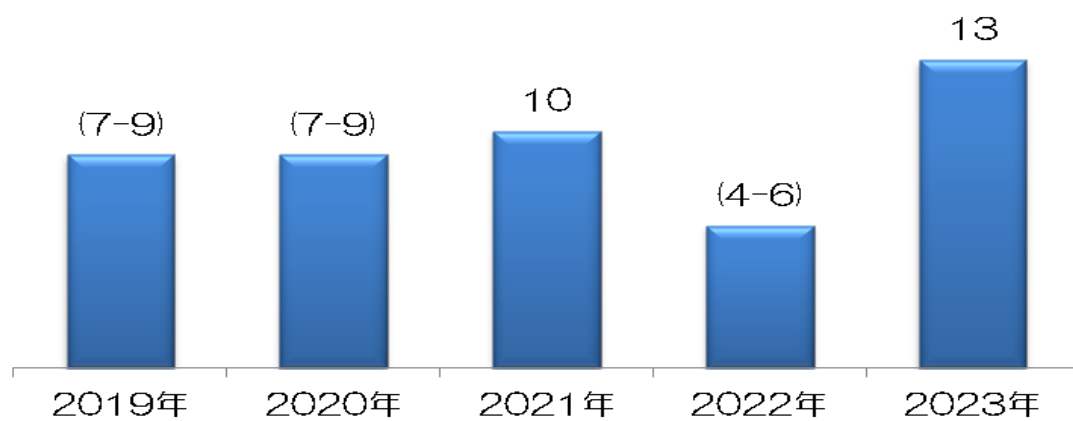
肝臓



肺



乳房

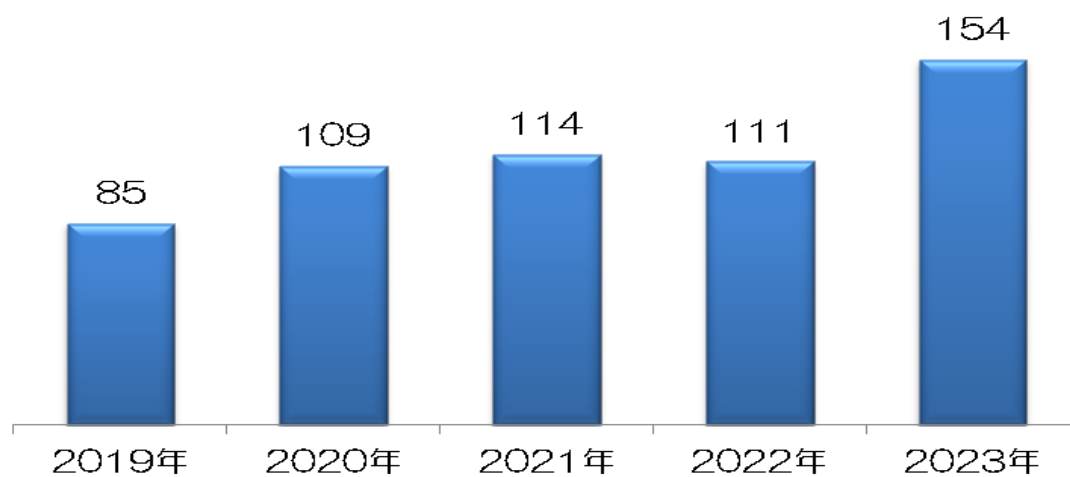


年次別登録数（主要 5 部位以外）

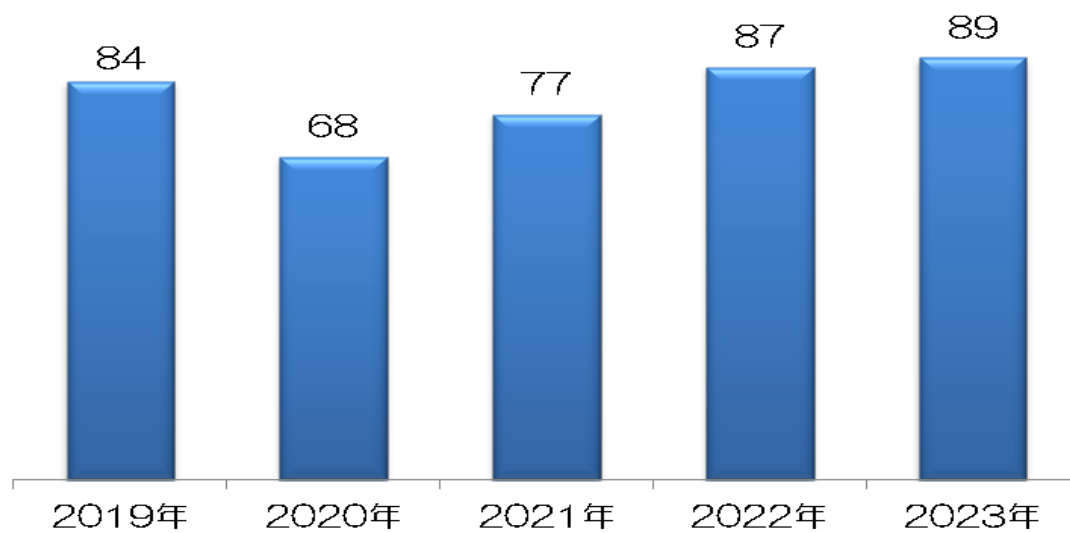
※5 年間の総症例数が 50 例以上のものを掲載。

※9 例以下については、症例数を表示しておりません。

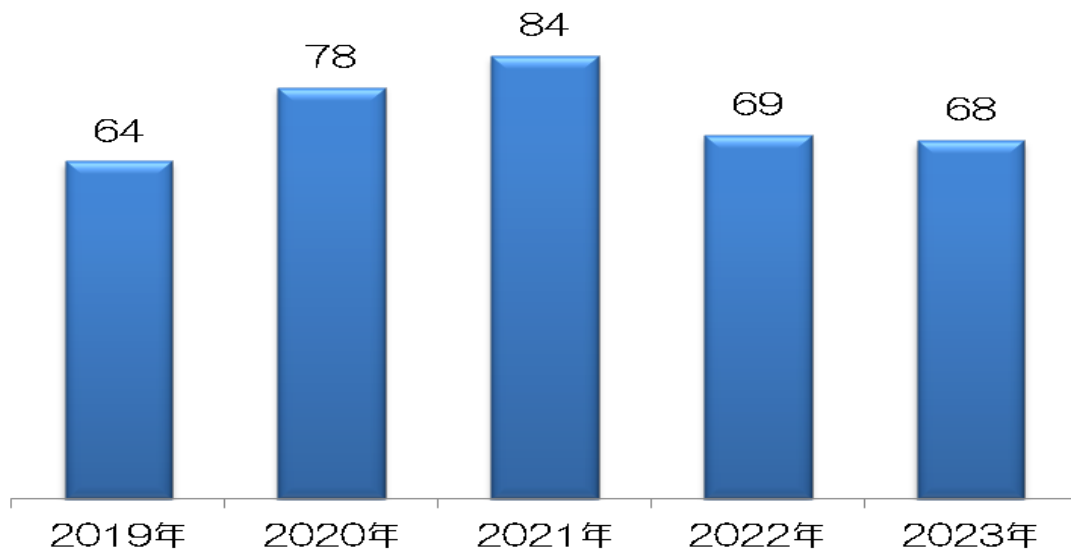
前立腺



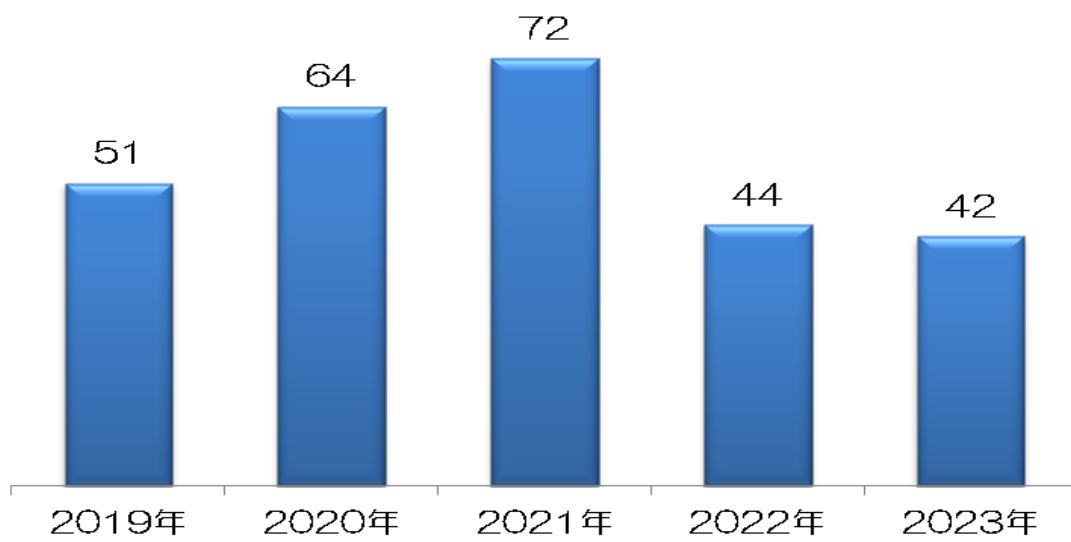
悪性リンパ腫



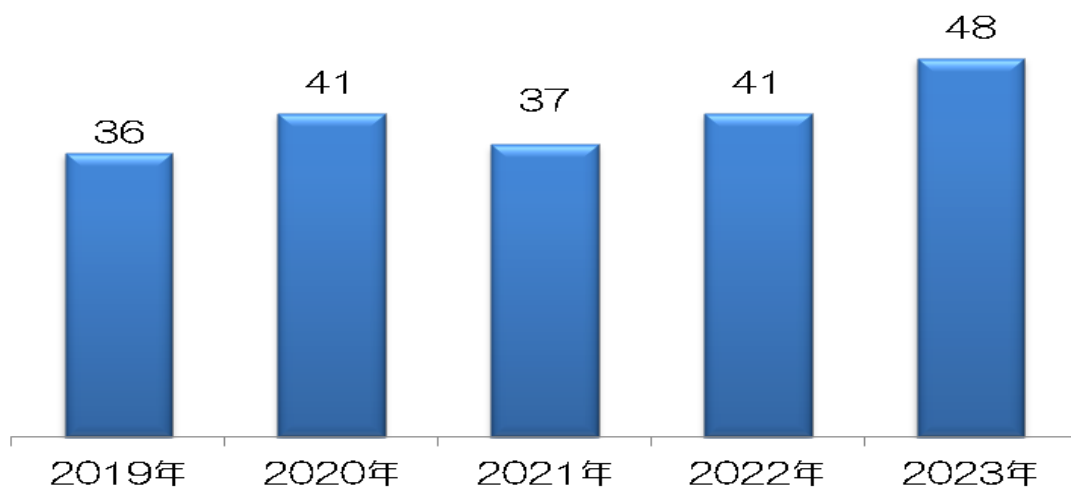
白血病



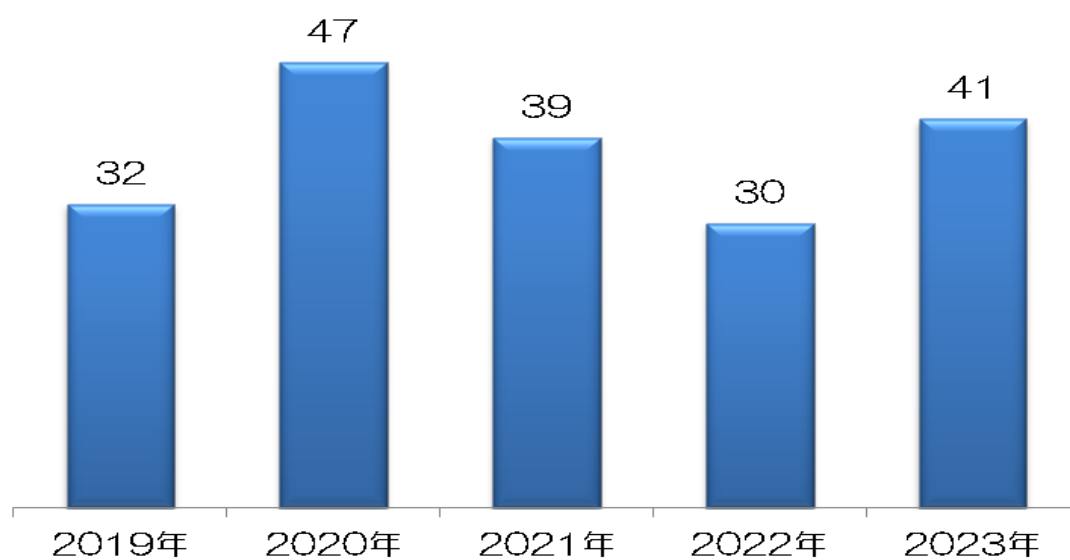
他の造血器腫瘍



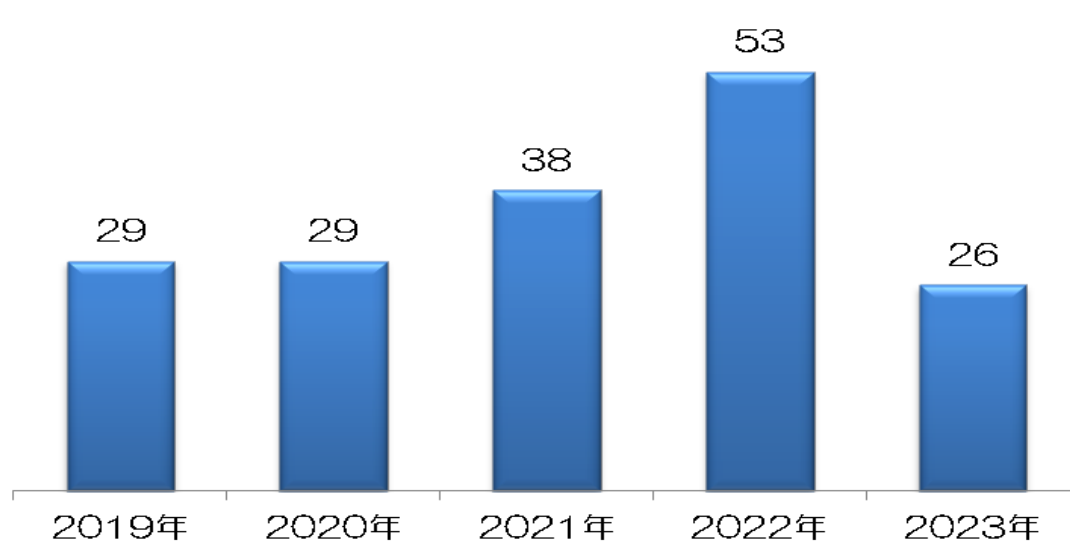
膀胱



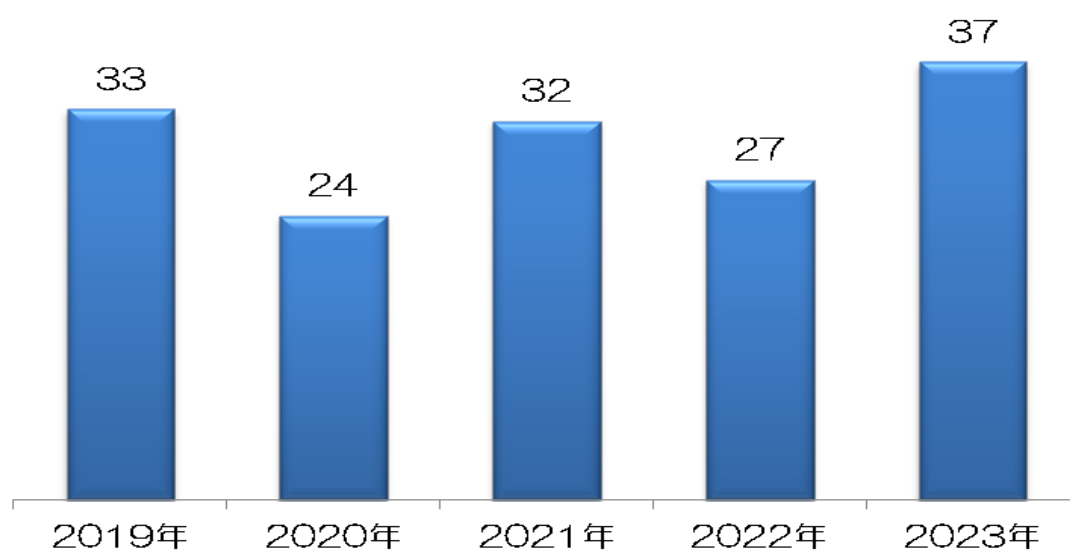
皮膚（黒色腫を含む）



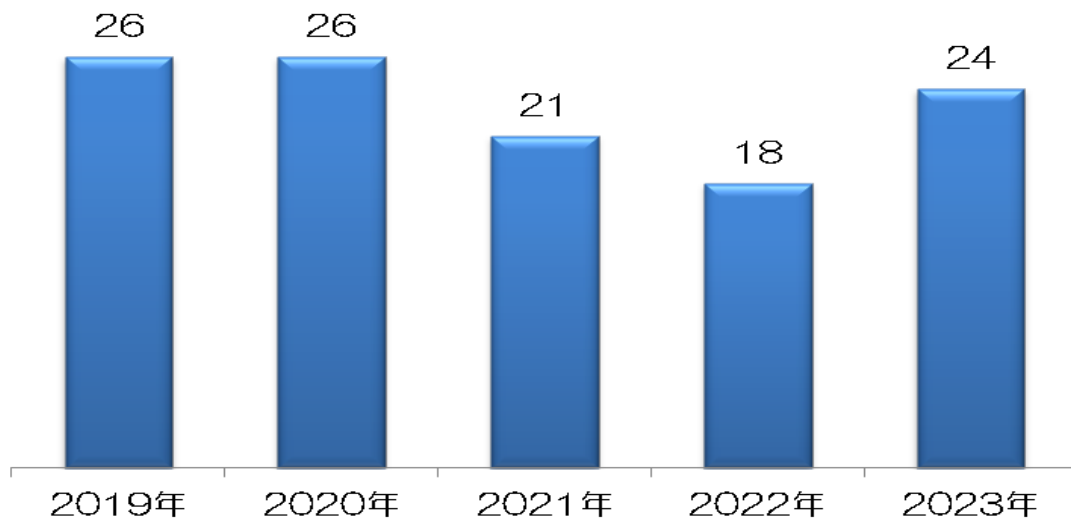
脾臓



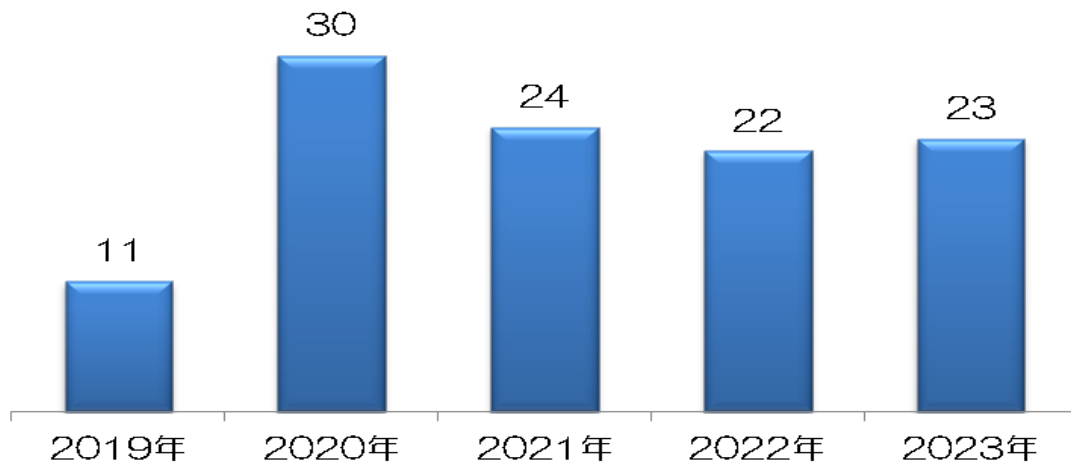
子宮（子宮頸部・子宮体部）



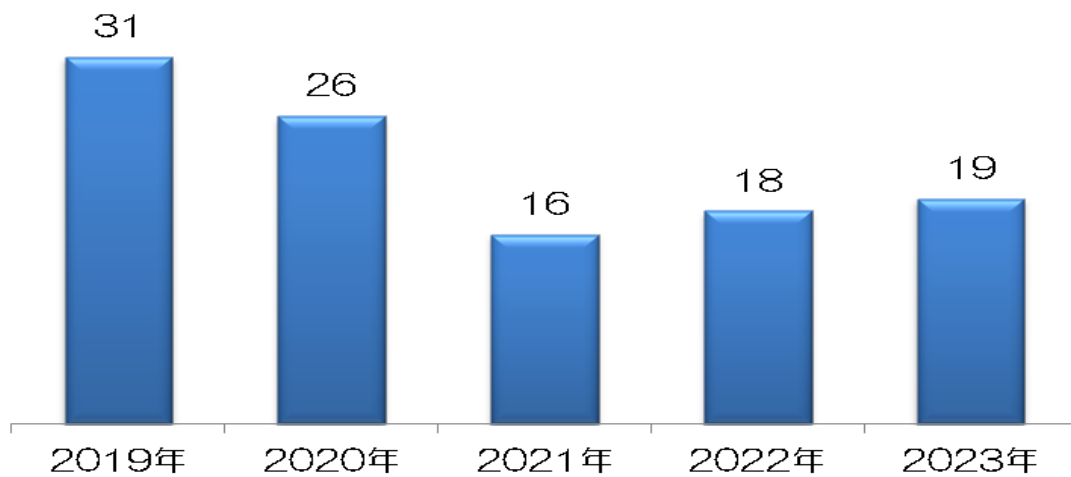
甲状腺



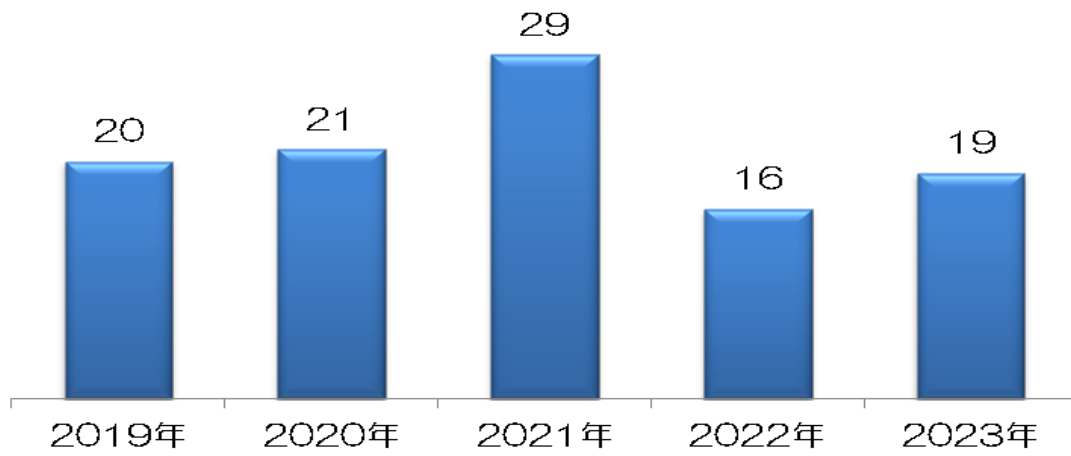
腎盂・尿管



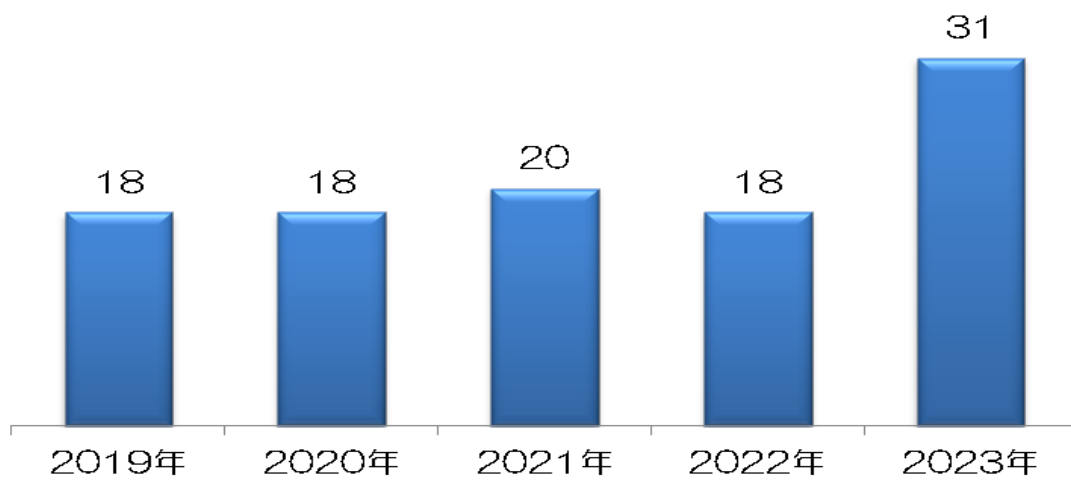
脳・中枢神経系



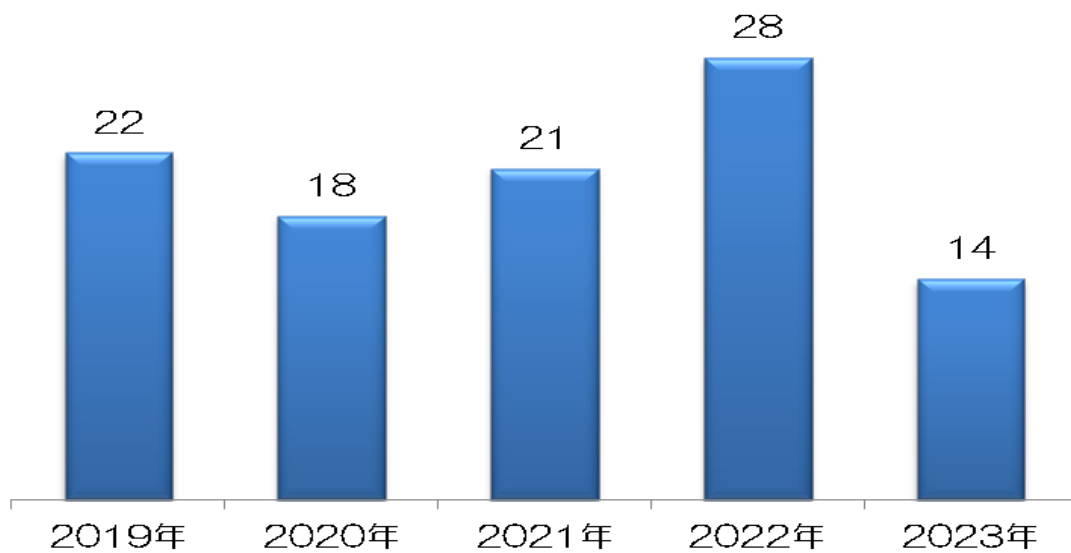
腎



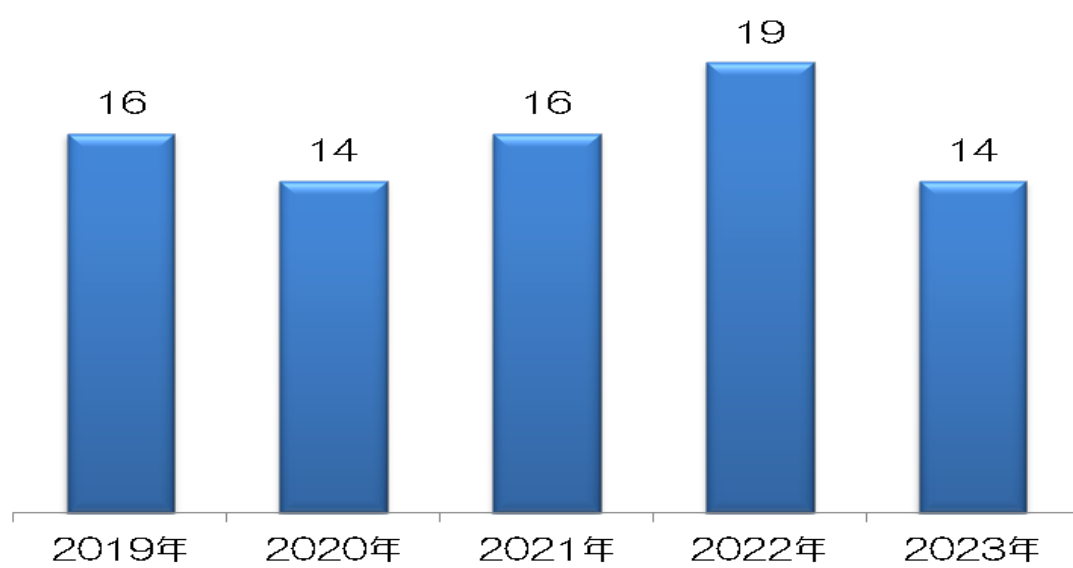
多発性骨髄腫



胆のう・胆管



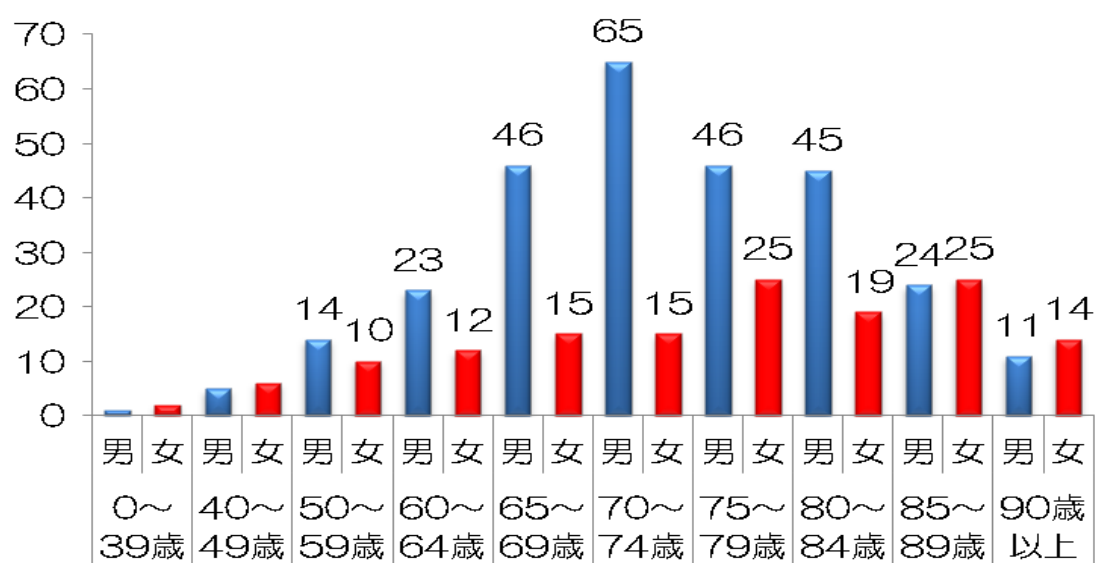
食道



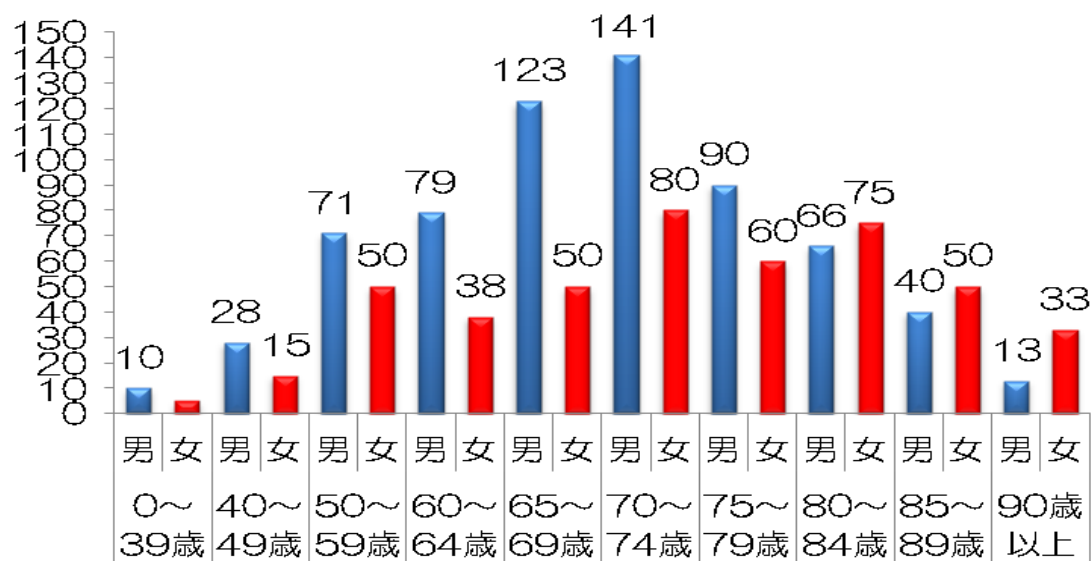
年齢別登録数（2019年～2023年主要5部位）

※9例以下については、症例数を表示しておりません。

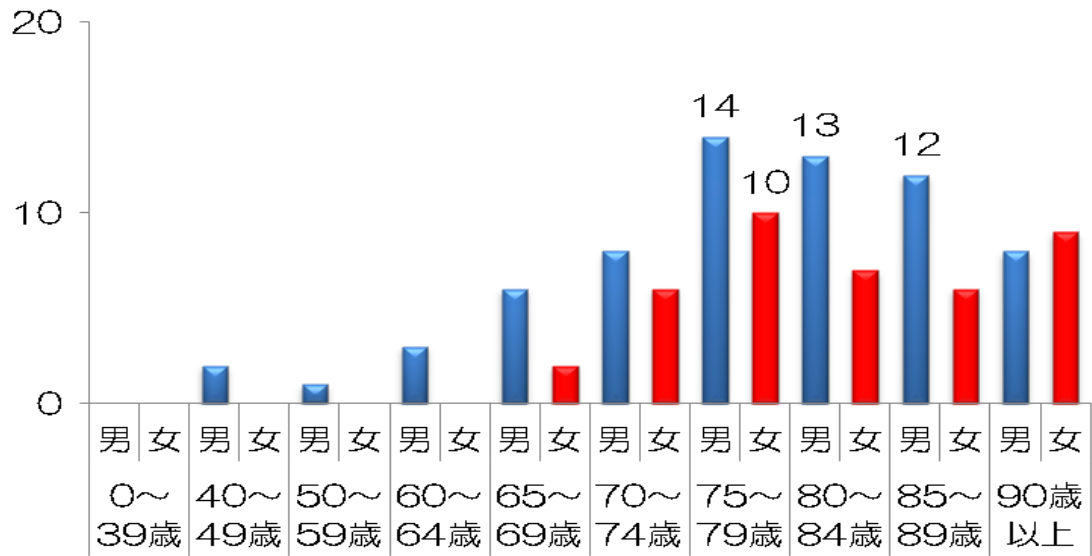
胃



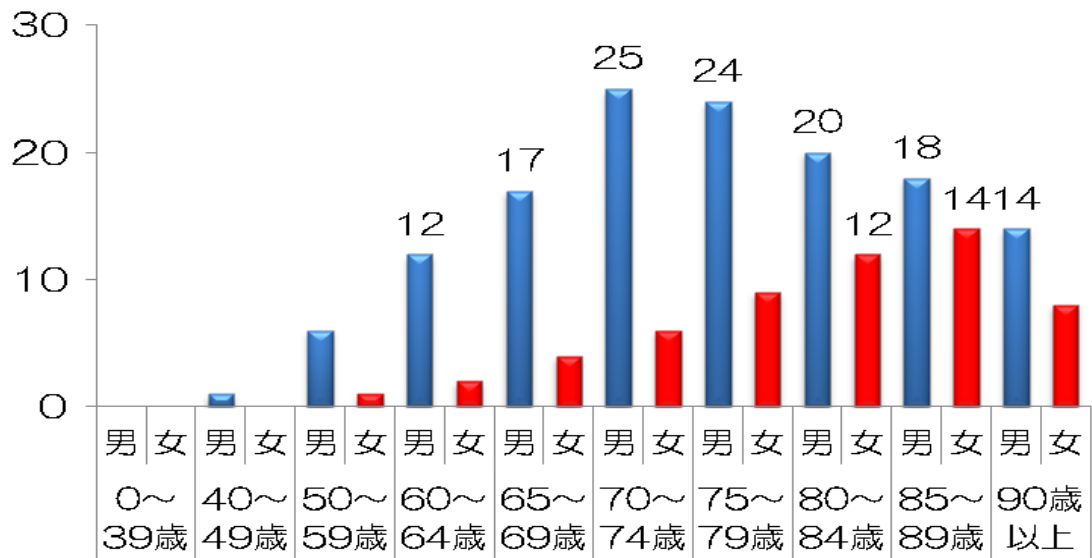
大腸



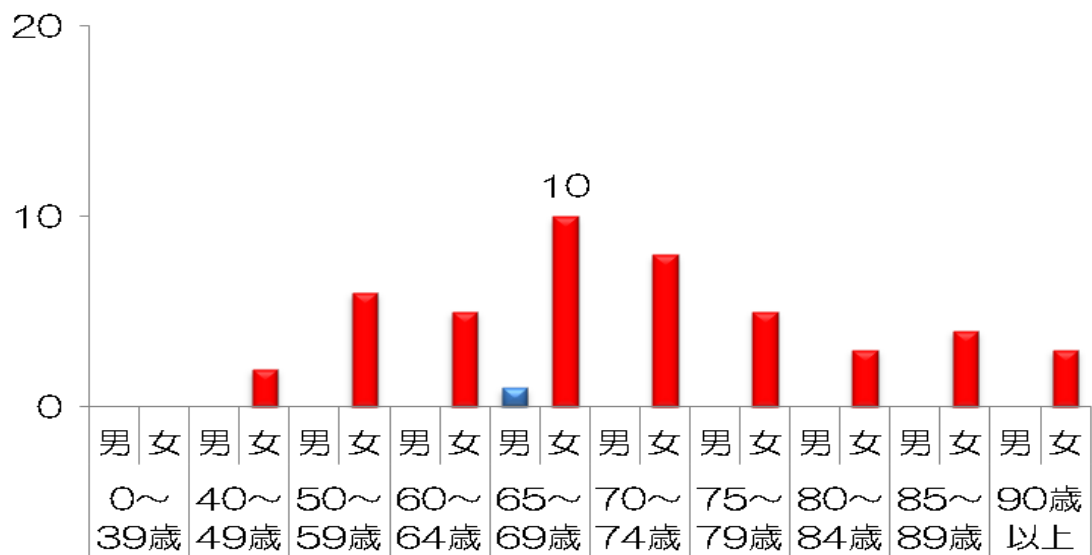
肝臓



肺



乳房

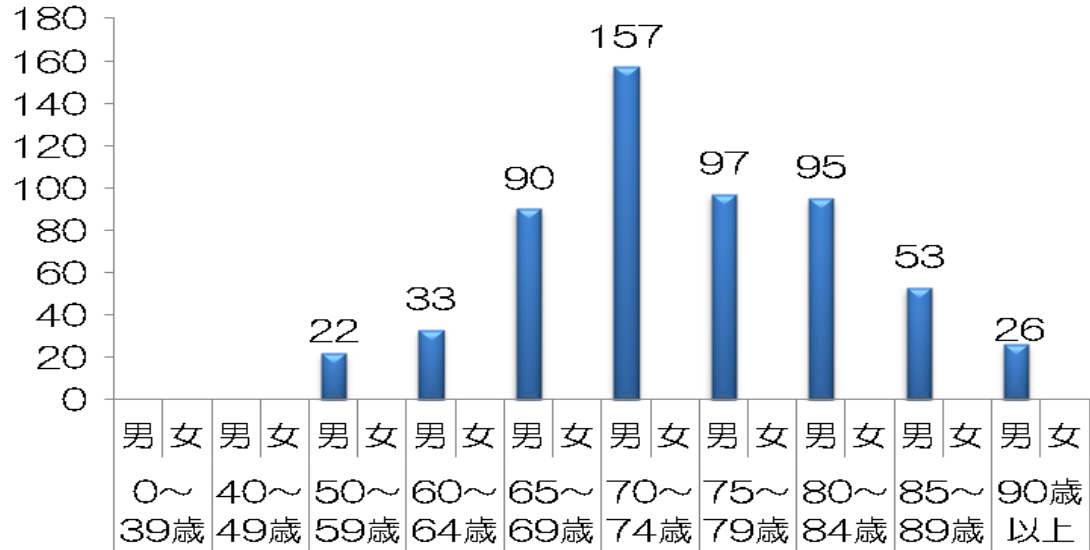


年齢別登録数（2019年～2023年主要5部位以外）

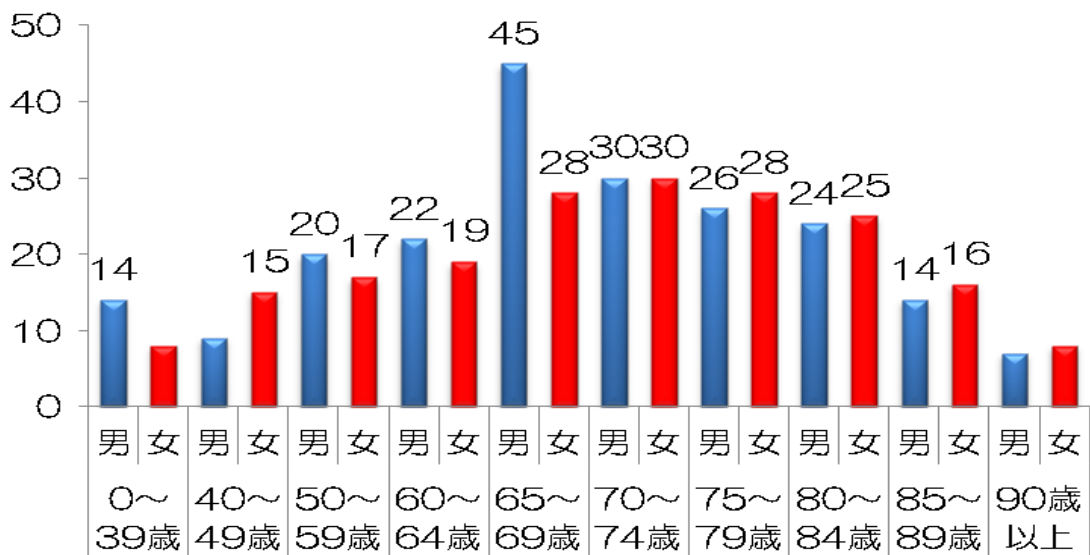
※5年間の総症例数が50例以上のものを掲載。

※9件以下については、症例数を表示しておりません。

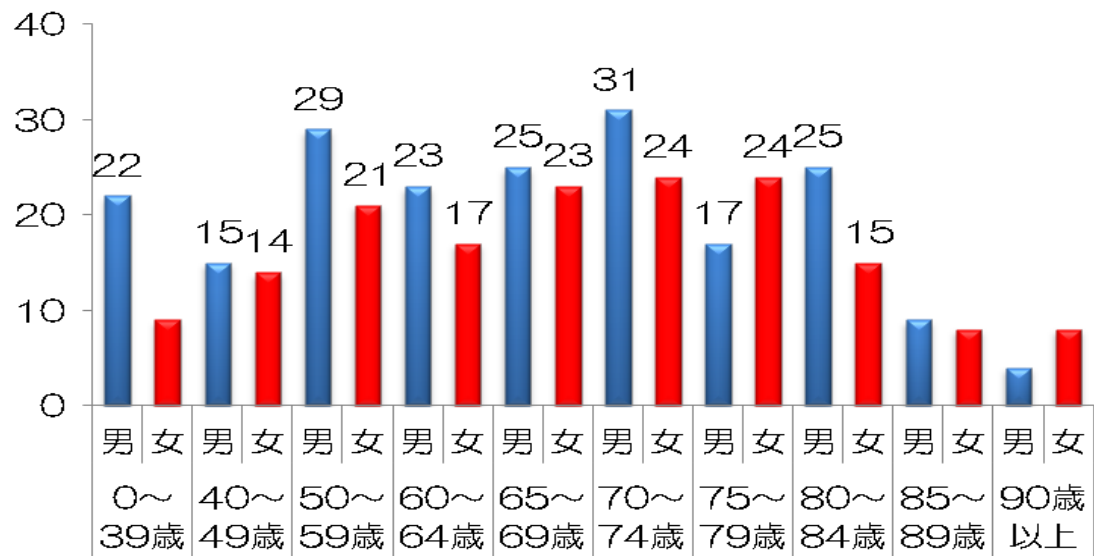
前立腺



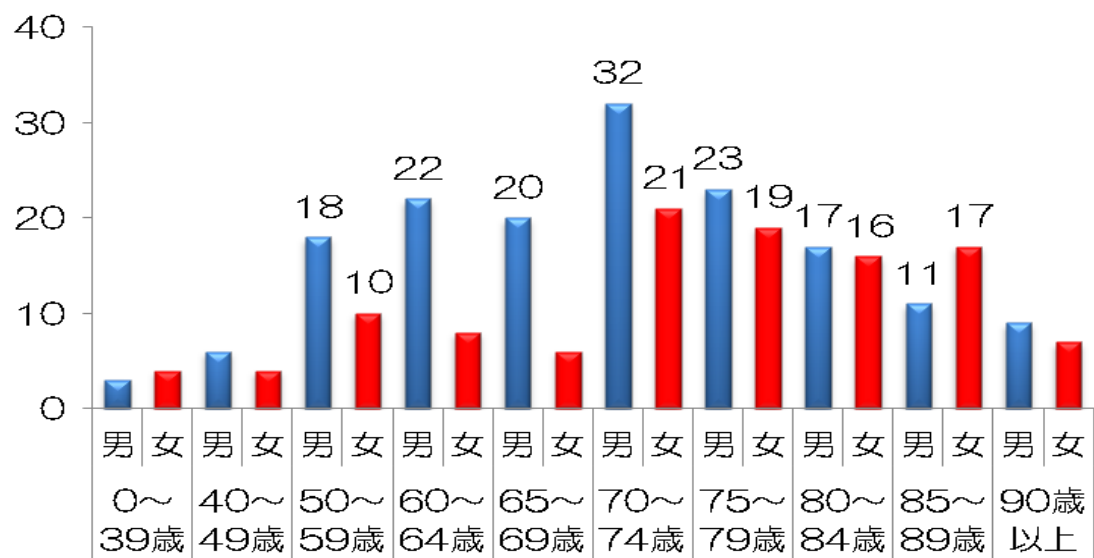
悪性リンパ腫



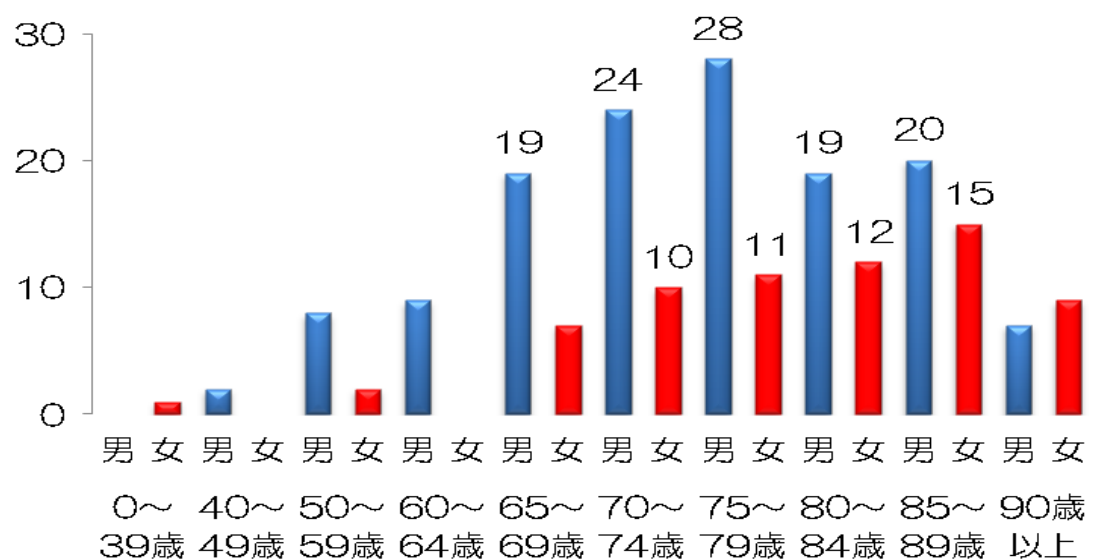
白血病



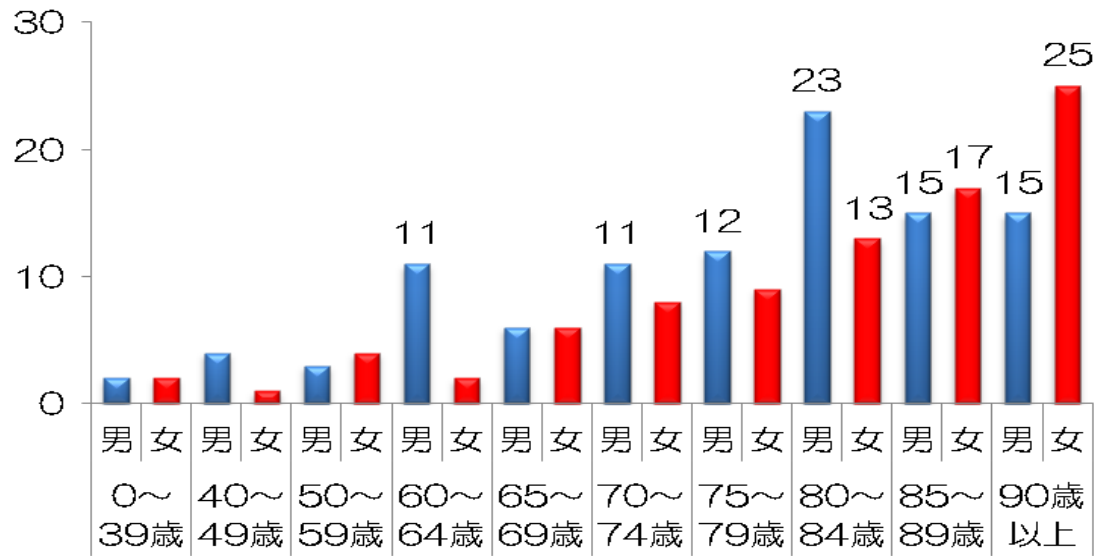
他の造血器腫瘍



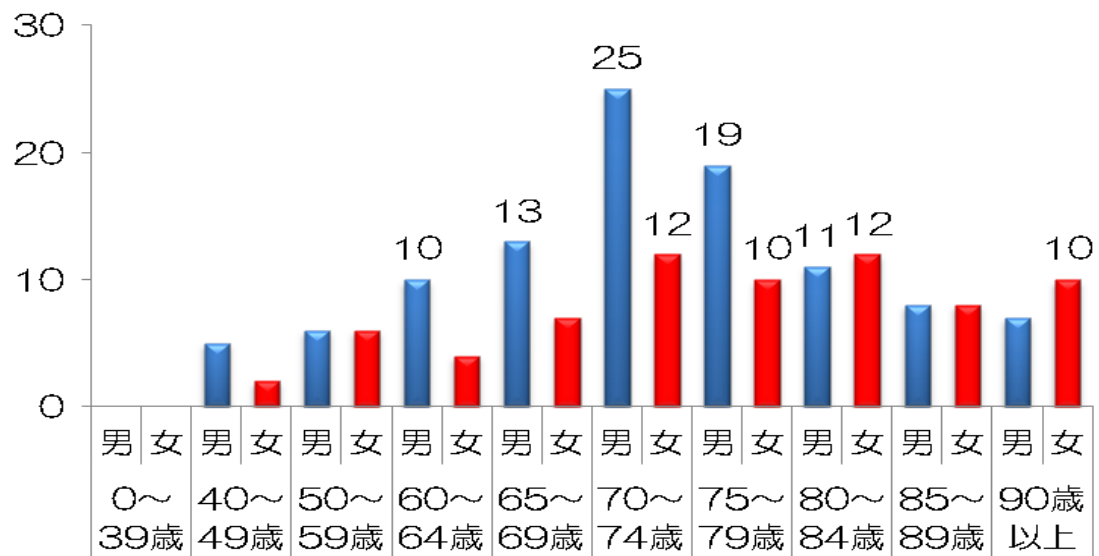
膀胱



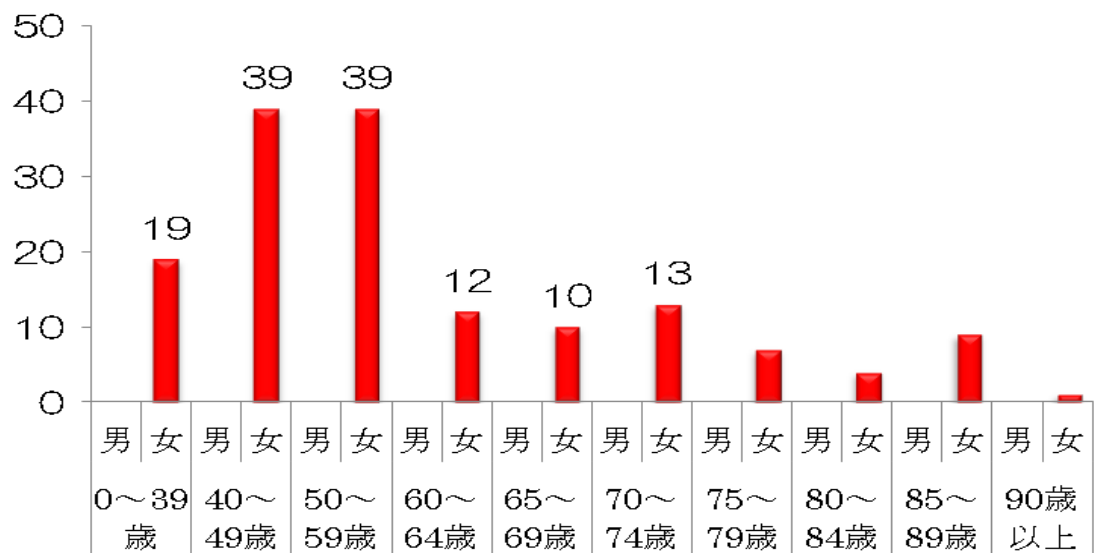
皮膚（黒色腫を含む）



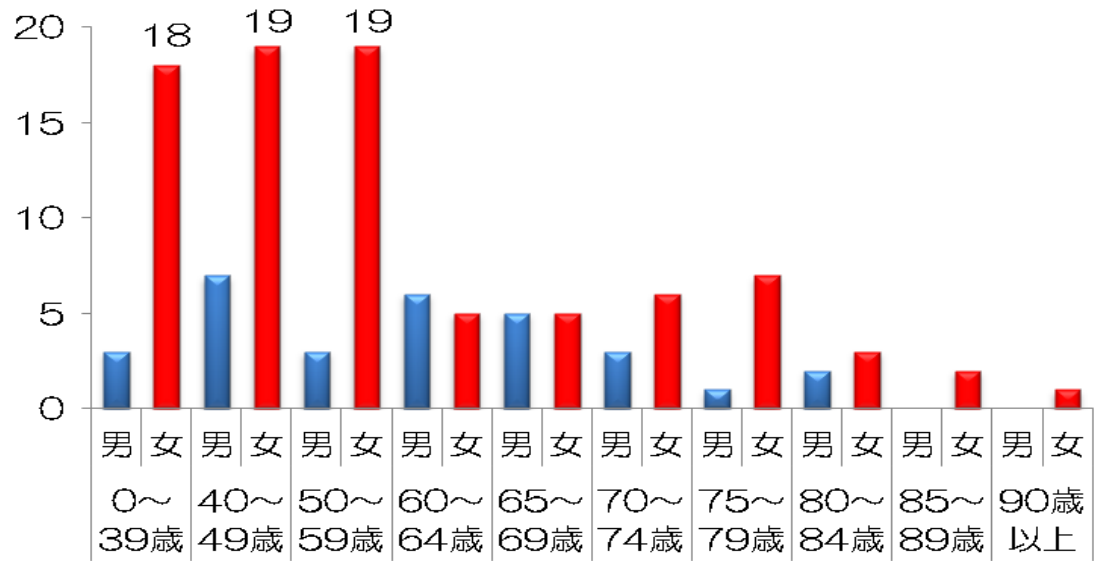
脾臓



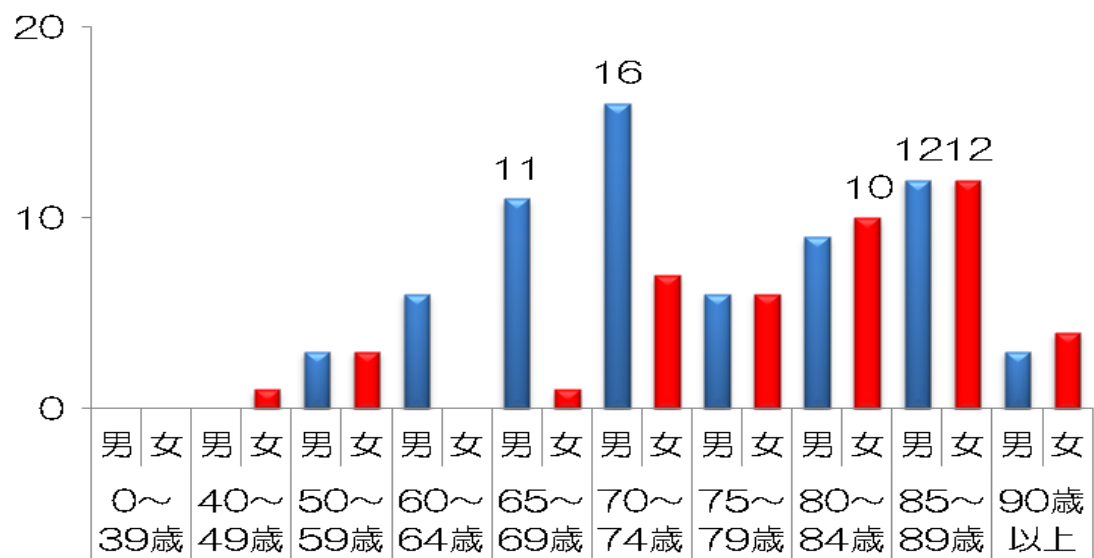
子宮（子宮頸部・子宮体部）



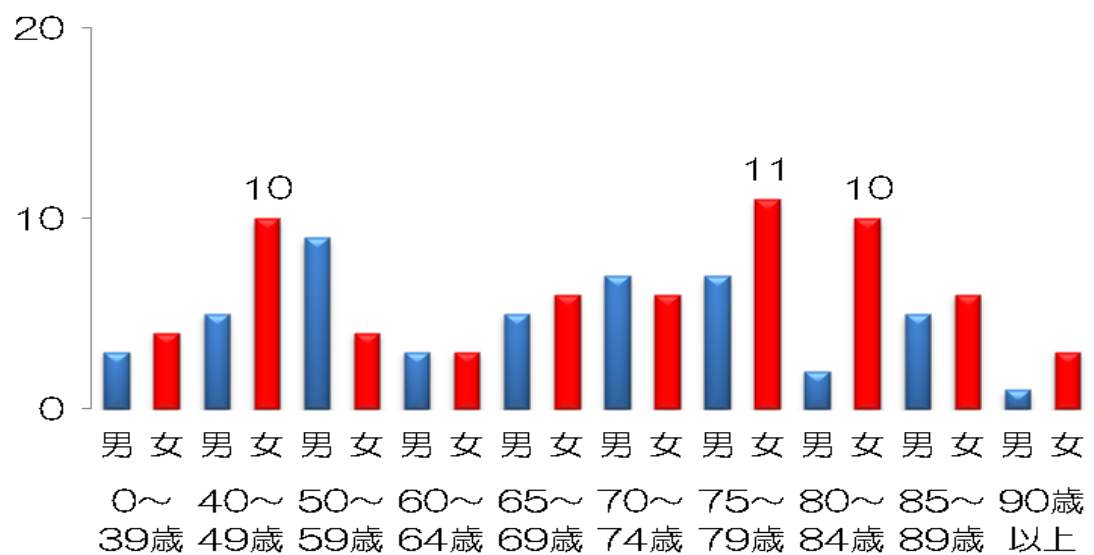
甲状腺



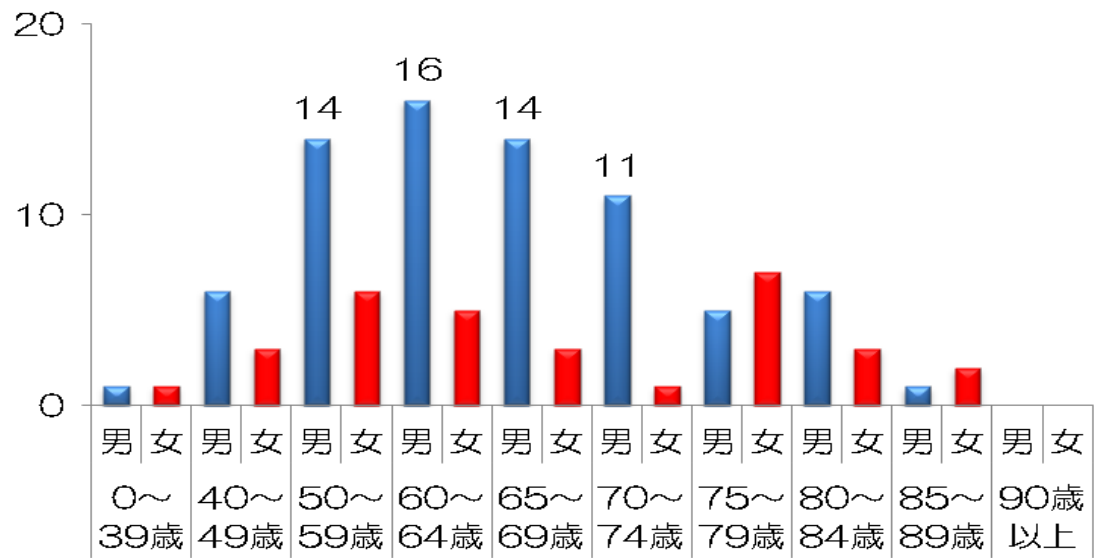
腎盂・尿管



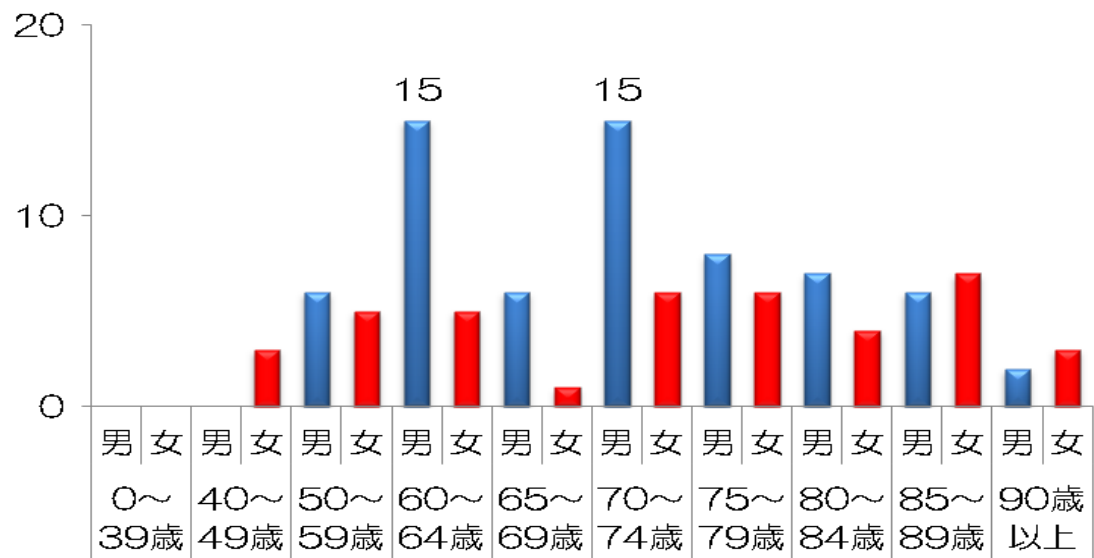
脳・中枢神経系



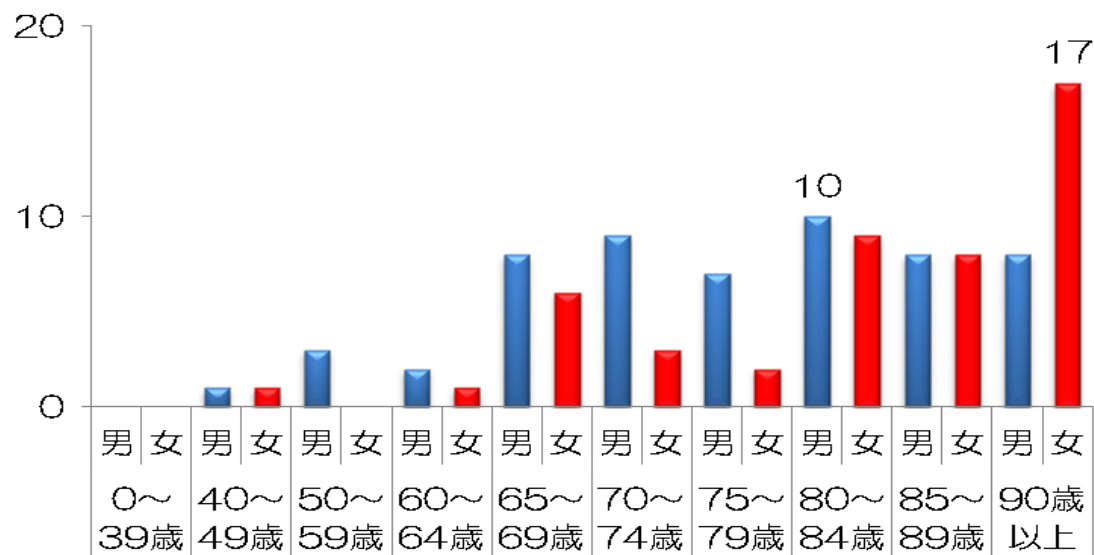
腎



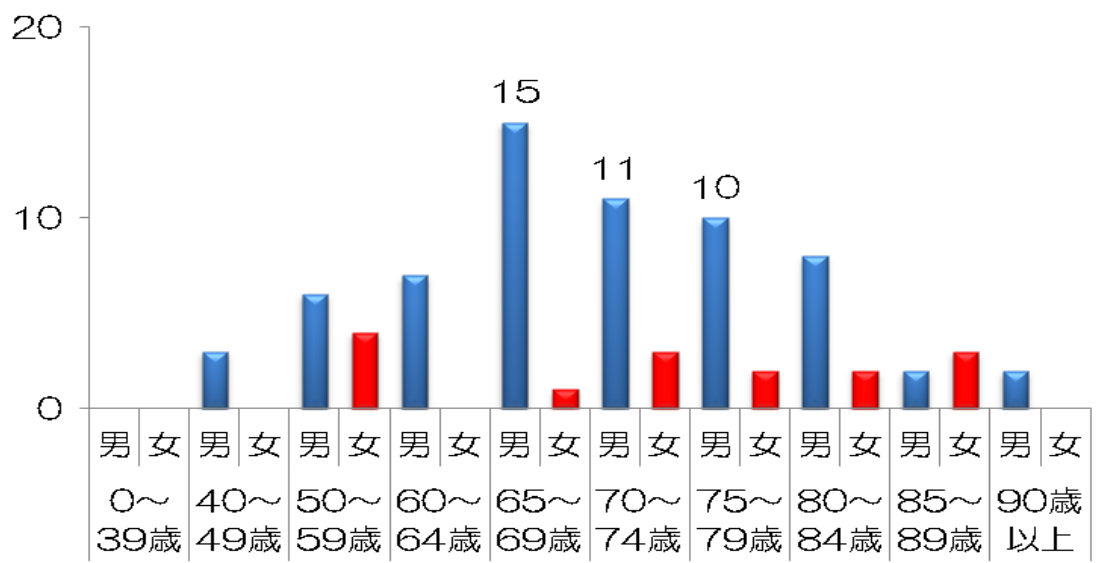
多発性骨髄腫



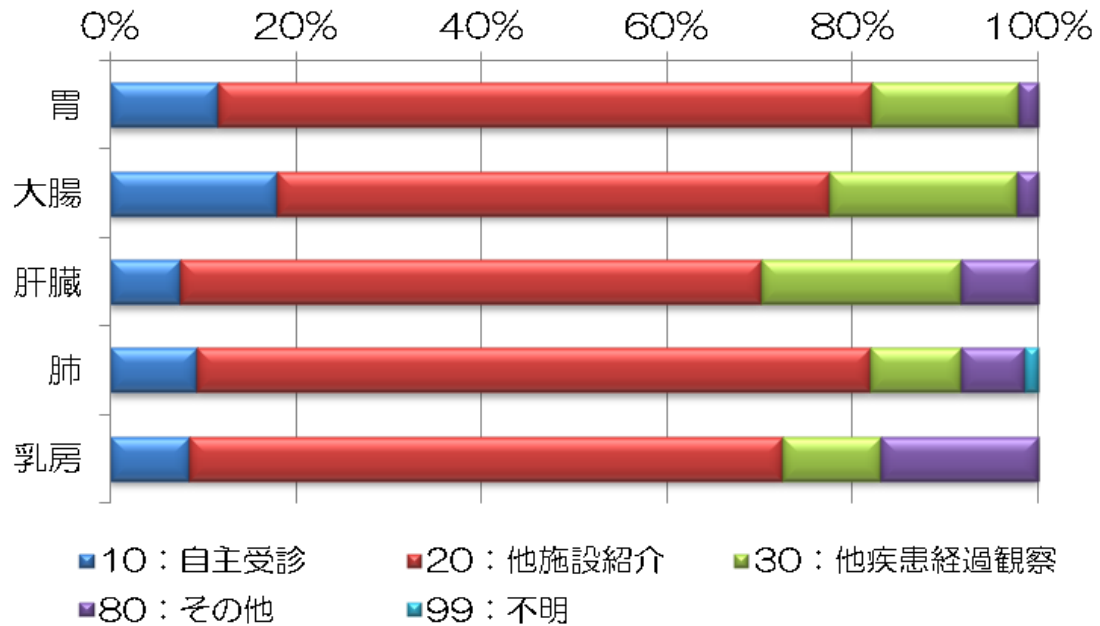
胆のう・胆管



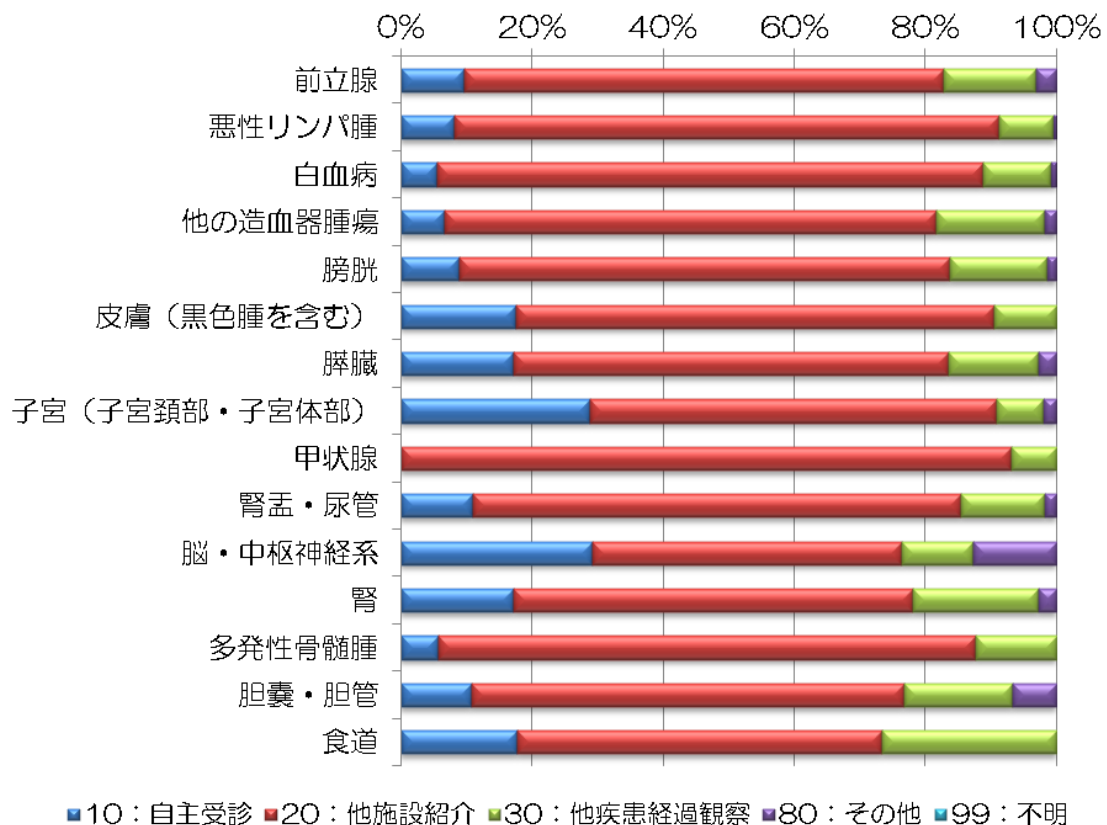
食道



来院経路別登録割合（2019年～2023年主要5部位）



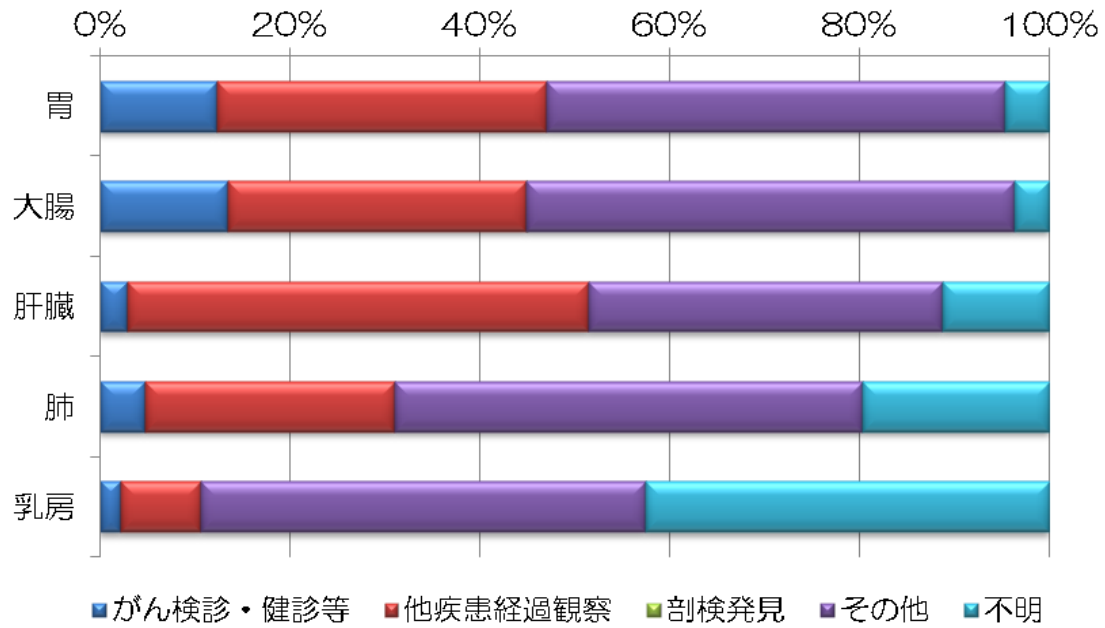
来院経路別登録割合（2019年～2023年主要5部位以外）



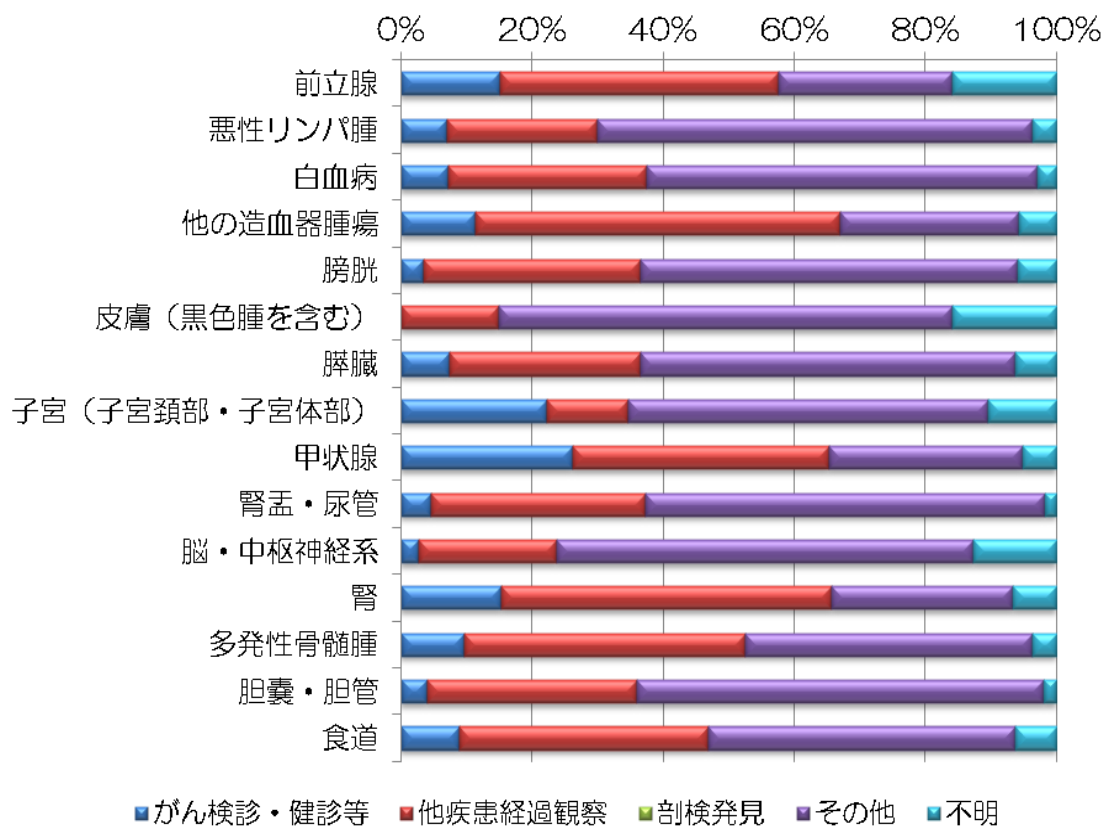
来院経路は、患者さんがどのような経路を経て自施設を受診したかを把握し、地域においてどのような機能を担っているのかを、他の医療機関との関係から推察することが可能となります。

当院の特徴としては、他医療機関からの紹介で受診し「がん」が発見される割合が高い傾向にあります。

発見経緯別登録割合（2019年～2023年主要5部位）

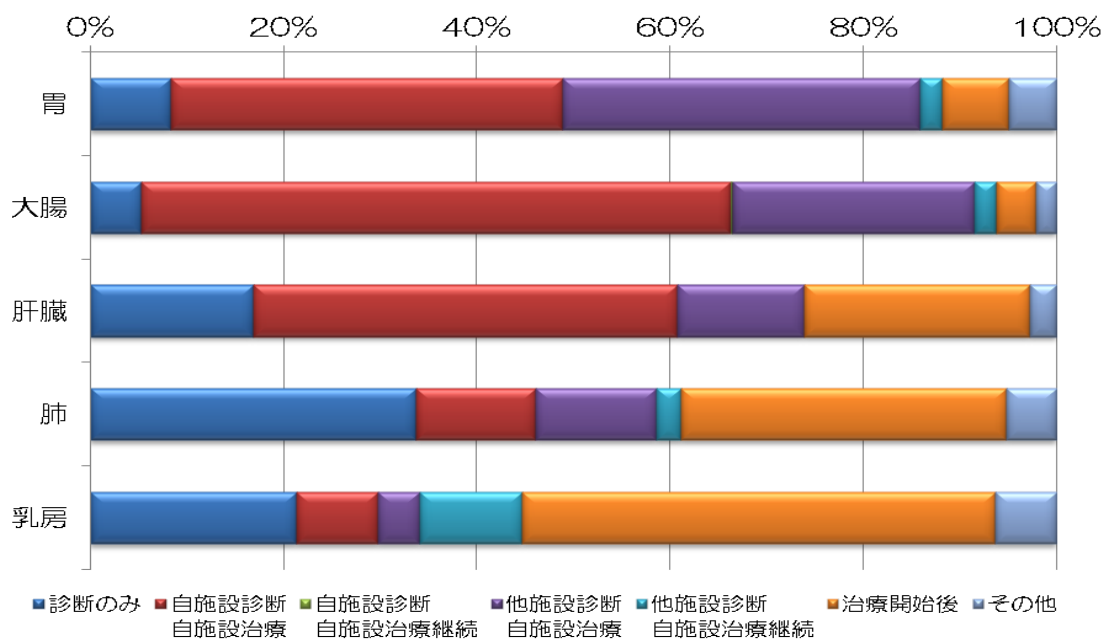


発見経緯別登録割合（2019年～2023年主要5部位以外）

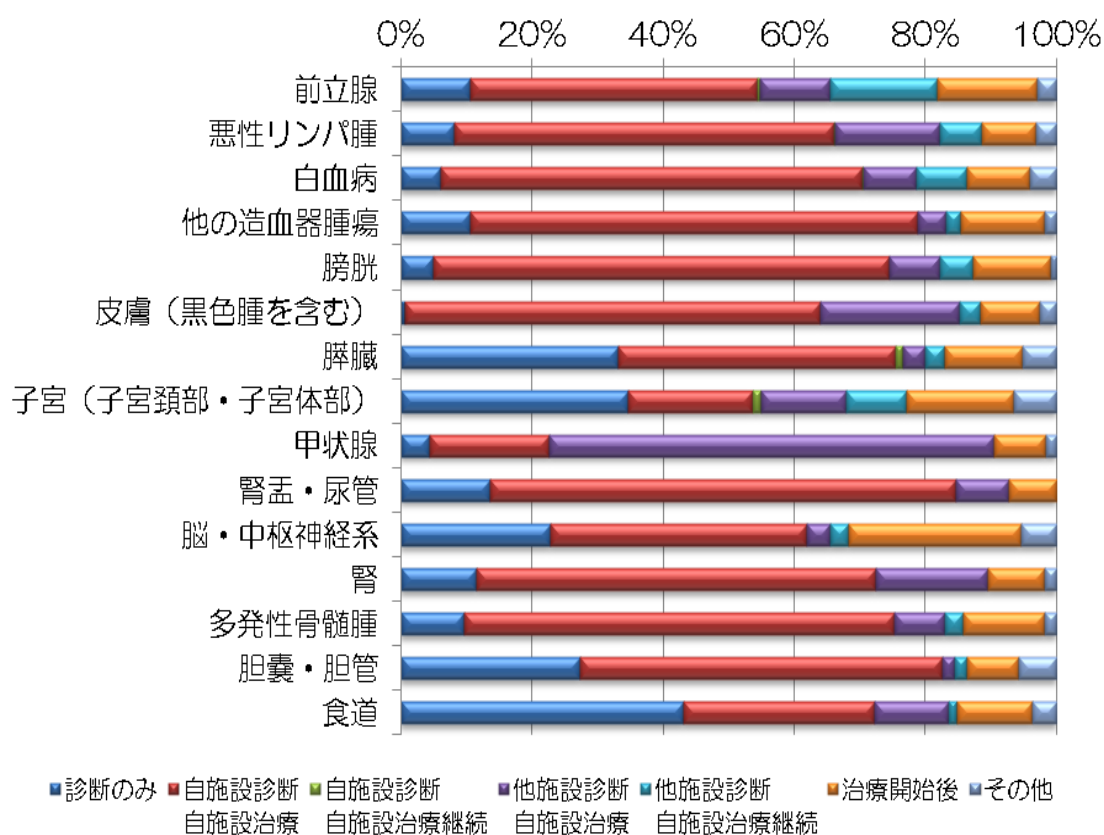


発見経緯は、当該腫瘍が診断される発端となった状況を把握することが可能となります。「がん検診・健診等」の割合は、有症状受診前に発見されたことを示す一つの指標になります。

症例区分別登録割合（2019年～2023年主要5部位）



症例区分別登録割合（2019年～2023年主要5部位以外）



がんの診断から再発治療までの一連の治療の流れの中で、主にどのような役割を担っているのかを推察することが可能となります。

ほとんどの部位において、がんの診断から初回治療導入までの役割を担っています。